

公民シラバス

教科(科目の種類)	学科(コース)名	学年	単位数	履修期間
社会科	3年(総合選択B)	3年	2単位	前期・後期・ <u>通年</u>
	科目名	政治経済(総合選択)		

目標	政治への関心を高め、政治や国家に関する基本的な概念や考え方を学ぶ。 広い視野で民主主義の本質を考え理解する。特に基本的人権、国民主権と代表民主制、法の支配、権力分立などが、なぜ民主的なのかを考える。
----	--

概要	レポートのまとめ方、討論の仕方、メディアの利用の仕方など、政治経済の学び方(スキル)を学び、取得させる。それによって政治経済の諸問題と自己とのかかわりに注目し、いかに生きるかを主体的に考えさせる
----	---

授業計画	前期前半(4月~6月)	後期前半(10月~12月)
	第1編 政治に親しむ 第1章 政治の基本原則を知るための4項目 1 現代と政治 2 民主政治の基本原則 3 民主政治のあゆみ 4 世界の政治制度 第2章 日本国憲法を知るための7項目 1 日本国憲法の基本的性格 2 基本的人権の保障 (平等権・自由権・社会権・参政権・新しい人権) 3 日本国憲法の平和主義 前期後半(7月~9月) 第3章 政治のしくみを知るための6項目 1 国会のしくみと役割 2 内閣のしくみと役割 3 裁判所のしくみと人権保障 4 政治と政党 5 選挙制度のしくみ 6 世論と現代民主政治の課題 第4章 国際政治のしくみを知るための4項目 1 国際社会と国際法 2 国際連合のしくみと役割 3 国際政治の展開 4 日本の国際的地位と役割	第2編 経済を愉しむ 第1章 経済のしくみを知るための9項目 1 家計・企業・政治のはたらき 2 現代の企業 3 市場経済のしくみ 4 物価の動向 5 金融のしくみとはたらき 6 財政のしくみと租税 7 国民所得と経済成長 8 景気循環のしくみ 9 資本主義と社会主義 第2章 国際経済のしくみを知るための3項目 1 貿易と国際収支 2 国際経済の展開 3 国際経済における日本 後期後半(1月~3月) 課題編 課題に挑む 序章 さあ、発見の旅に出よう 第1章 現代日本が挑む課題 (情報化の進展と市民生活~大きな政府と小さな政府) 第2章 国際社会が挑む課題 (地球環境問題~国際社会における日本の役割)

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	社会で起きるさまざまな出来事を生徒自身の問題としてとらえさせ問題意識を啓発する	社会現象や自己の内面的問題を自ら思考させることによって正しい判断を導く	学習した中から興味のあるテーマを選びレポートを作成し発表する	政治・経済・文化など基礎的な知識を理解しこれからの学習の基盤とする

以上の4つの観点に配慮し、下記の方法で総合的に評価する。
 定期考査 テーマをきめレポートにして発表 提出物 授業に取り組む姿勢 総合的な達成度

教材	教科書：数研出版 政治経済 ワークノート 政治経済(数研出版)
----	------------------------------------

履修上の注意	単なる知識としての学習に終わらせることなく、生徒が地域・沖縄・日本・世界のさまざまな社会現象に興味・関心を持ち、身近なマスメディアを活用し積極的に授業に参加する姿勢を身につけさせる。これによって進路決定においても社会と自らの関係・適正などを考慮しよりよい進路決定を目指す 民主政治の歴史を学びその過程で他の政治との違いを理解し、民主政治を尊重し、擁護することの意義を理解し良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
--------	---